



卓 話



NO. 951 2007年6月7日
東京四谷ロータリークラブ

イニシエーションスピーチ

川出 秀明会員

昭和16年1月12日東京都江東区大島に鉄工所を営む両親のもと8人兄弟の次男として生まれました。生まれた町はほぼ町全体が軍需産業（日立製作所、東芝、日本製鋼所、三菱製鋼所など）を中心とした工業地帯で家業もそれらに類した鉄工所を営んでおりました。こうした地域でしたので昭和20年3月9日、10日の東京大空襲では真っ先に標的となり町全体が焼失してしまいました。当時家族は皆千葉県市川市に疎開し難を逃れましたが、我が家は焼失してしまいました。終戦時は5歳程度でしたが3月10日の夜空が真っ赤に燃えていたのを今でも鮮明に記憶に残っています。



昭和28年に第一大島小学校を卒業し、その後昭和第一中学、同高校を経て昭和34年に青山学院大学に入学しました。学生時代は勉強をすることなく軽音楽部に所属しハワイアンバンドを作り、バックー白片始めプロの連中に心酔してもっぱら学生のダンスパーティーなどに顔を出し、そのバイト代で学費や生活費を稼いでおりました。昭和38年に同校を卒業し、兄弟が家業を継いだこともあり自分はサラリーマンを目指して貿易商社の大沢商会に就職しました。大沢商会では外国部に所属しカメラ、時計、自動車部品、機械部品の輸出入業務及び一時外国為替課に所属し、約10年間の経験を通じて現在の事業の基礎知識を身に付けました。

10年余りのサラリーマンの経験を経て、昭和48年に独立して現在の会社であります(株)ユニコを立ち上げました。設立にあたっては夢を語り合い海外に向かって大きく羽ばたきその夢を実現したいと当時の会社の仲間6人が集まって(株)ユニコを立ち上げました。立ち上げるにあたっては多くの方々のお力添えを頂き、特に海外の取引先様の方々や国内の協力メーカーの皆様には言葉に尽くせないほどのご協力

を頂きました。貿易商社といっても設立当初は輸出専業で主に自動車部品や機械部品などをアメリカ市場やヨーロッパ市場に輸出しておりました。折りしもオイルショックでしたが円相場は1ドル250円から300円の時代でしたので、日本製品であればある程度の信頼もあり、こうした円安環境のもとで輸出は好調で会社は発足当初から順風満帆の状況が続きました。こうした状況が暫く続き、昭和55年までに米国法人、シンガポール法人を立ち上げ右肩上がりの経営が続き、気分は正に有頂天の時代でありました。

しかし好邪魔多しと申しますが、世の中はそう簡単には行かず若僧に大きな試練が待ち受けておりました。昭和60年9月22日、当時の中曽根政権のもとでニューヨークのプラザホテルにて先進5カ国の蔵相会議が開かれ、中でも貿易黒字が突出していた日本の黒字を減らす目的で円を作為的に円高方向に誘導するという基本方針が5カ国の間で合意されました。つまり円買い、ドル売りを意図的に世界市場レベルで各国通貨当局が相場介入するという合意がなされたわけです。俗に言う「プラザ合意」であります。これにより9月23日の相場は1日で20円も円高になりその後もその波紋は止まることなく昭和62年には1ドルが79円にまで円高となってしまい、この事のインパクトは大きく当時は多くの会社が苦境に立たされて倒産や廃業が相次ぎ、当社も一気に経営の危機に陥ってしまいました。

こうした急激な状況変化の中で経営のハンドルを切り替える時間的余裕も無く、その後の10年間はリストラは無論のこと採算の取れるごく一部のビジネスに特化し、輸入と国内の事業への転換に奔走して刻々変わる変化に対応することに必死の状況が続きました。こうした中で大切な社員が去っていったのも辛い思い出です。正に必死という言葉が符合する厳しい時代を経験しました。

その折々の経営環境の下で次に向かって何をやるべきか、それをやるにあたってどんな戦略で立ち向かって行くべきかの試行錯誤を繰り返してきた、10年余りのどん底の経験を通じ今やっとこの数年で幾分かの新しい道を見出すことができつつあるかなあ？といったところであります。まだまだ道は半ばにも到っておらず、最初の一步が始まったばかりで

あります。そして再びいずれは大きな山が待ち受けているものと覚悟をしております。

今年は会社を興して足掛け35年になります。企業30年といわれますが私にとってはその言葉の真実味が本当に実感として伝わってきます。その意味では今やっ
と5年目と考えております。私なりの経験を述べさせていただきますましたが、この道を振り返ってみて今こうして普通の生活が送ってられるのは、社員をはじめ関係お取引先様方のお陰様に尽きます。

これからも現役を貫くつもりでおりますし、又東京四谷発の優秀な日本製品と優秀な外国製品との交流を通じて企業文化の交流の為に微力ですが頑張っていきたいと思っております。

当クラブに私をご紹介いただきました佐々会員様に心から感謝申し上げますとともに、ロータリークラブの活動に少しでもお役に立てるよう頑張っていりますので、これからもどうぞ宜しく御願致します。